

MATCH DAY PROGRAM

第34節

10.26 SAT **14:00 Kick Off**
vs 松本山雅FC



MF 15 FUJITA YASUTO
富士田 康人



Y.S.C.C. PLAYERS

1 GK Ryohei SAGAWA 佐川亮介 1993.7.17 出身地：東京都 前所属：拓殖大	2 DF Minoz HANAFUSA 花房稔 1996.7.30 出身地：東京都 前所属：国士館大	3 DF Takuya FUJIWARA 藤原拓也 1992.12.18 出身地：徳島県 前所属：ガイナーレ鳥取	4 MF Kento DOGATE 土館賢人 1992.8.23 出身地：神奈川県 前所属：いわてグルージャ盛岡	5 DF Hauki OSHIMA 大嶋春樹 2000.7.11 出身地：兵庫県 前所属：中京大	6 MF Diego TABA 田場ディエゴ 1996.5.31 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	7 MF Atsushi KIKUTANI 菊谷篤資 1997.6.18 出身地：千葉県 前所属：FCバイエルンアルツェナウ	8 MF Yutaro YANAGI 柳雄太郎 1995.9.18 出身地：千葉県 前所属：明海大
9 FW Yusei KAYANUMA 萱沼優聖 1993.8.6 出身地：山梨県 前所属：ヴァンラーレ八戸	10 MF Ryotaro YAMAMOTO 山本凌太郎 1998.12.7 出身地：千葉県 前所属：横浜FC	11 FW Jorn PEDERSEN ピーダーセン世穂 1997.12.12 出身地：東京都 前所属：慶應義塾大	13 FW Lugman HAKIM ルクマンハキム 2002.3.5 出身地：マレーシア 前所属：KVコルトレイク	14 MF Ryohei WATANABE 脇坂峻平 1998.12.27 出身地：神奈川県 前所属：新潟医療福祉大	15 MF Yasuto FUJITA 富士田康人 2000.12.16 出身地：福岡県 前所属：日本体育大	17 DF Takuma HASHINO 端野拓馬 2002.2.18 出身地：神奈川県 前所属：上武大	18 MF Jukuya FUISHIMA 藤島樹騎也 1996.8.26 出身地：三重県 前所属：FCマルヤス岡崎
19 DF Shawn VANEEDEN ヴァンイヤーデン・ショーン 2004.4.16 出身地：神奈川県 前所属：横浜FC	20 MF Yusei OTAKE 大竹悠聖 2000.7.13 出身地：熊本県 前所属：桐蔭横浜大	21 GK Chris TAKAHASHI 高橋クリス 2002.1.11 出身地：埼玉県 前所属：東京23FC	22 MF yushin OTAKE 大竹優心 2005.7.17 出身地：新潟県 前所属：アルビレックス新潟	24 FW Rento TAHARA 田原廉登 2001.1.8 出身地：神奈川県 前所属：CD・アトレチコパン	25 DF Shunta NISHIYAMA 西山峻太 1989.7.25 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	26 DF Hirotoshi OKOSHI 大越寛人 2000.9.19 出身地：埼玉県 前所属：桐蔭横浜大	27 DF Wataru YAMAKURA 山倉渉 2005.7.17 出身地：東京都 前所属：アルビレックス新潟U-18
30 MF Shuto KOJIMA 小島秀仁 1992.7.30 出身地：栃木県 前所属：ジェフユナイテッド千葉	31 GK Michiya OKAMOTO 岡本享也 1995.5.17 出身地：神奈川県 前所属：FC岐阜	32 FW Koiki MATSUMURA 松村航希 1996.5.24 出身地：兵庫県 前所属：藤枝MYFC	33 MF Rikuto HISHEIMOTO 橋本陸斗 2005.4.2 出身地：東京都 前所属：東京ヴェルディ	39 MF Koji OKUMURA 奥村晃司 1998.7.29 出身地：埼玉県 前所属：ザスパカサツ群馬	50 MF Takahiro NAKAZATO 中里崇宏 1990.3.29 出身地：東京都 前所属：鈴鹿ポイントゲッターズ	67 FW ONYE OGUCHUKWU PROMISE オニエ・オゴチュクワ・プロミス 2002.3.13 出身地：ナイジェリア 前所属：高知中央高校	82 GK Naoki GOTO 後東尚輝 2002.4.26 出身地：徳島県 前所属：徳島ヴォルティス

TODAY's EVENT

SPECIAL GUEST

ポケモン サトシ役で大人気

地元横浜市中区出身

松本梨香さん
来場決定!!

特別トーク&ライブ開催

◆ 12:30~12:45 トラックステージにてトークショー開催

◆ キックオフ前に『めざせポケモンマスター』を歌っていただきます

Y.S.C.C. スターティングメンバーの
発表もしていただきます!!





松本山雅FC

監督：霜田 正浩

TODAY'S EVENT

場内ホームゴール裏

カードショットトレкиングブース・キックターゲット



メインコンコースに出店



横浜リゾート&スポーツ専門学校ストレッチブースが出店!



時間：12:00～13:45

1 GK 大内一生	22 DF 佐相 壱明	23 MF 滝 裕太
16 GK 村山 智彦	27 DF ニノ宮 慶洋	25 MF 中村 仁郎
21 GK ビクトル	40 DF 樋口 大輝	30 MF 國分 龍司
35 GK 神田 渉馬	44 DF 野々村 鷹人	32 MF 米原 秀亮
2 DF 宮部 大己	48 DF 藤谷 壮	36 MF 松村 厳
4 DF 高橋 祥平	6 MF 山口 一真	41 MF 村越 凱光
5 DF 常田 克人	8 MF 住田 将	46 MF 安永 玲央
7 DF 馬渡 和彰	10 MF 菊井 悠介	9 FW 高井 和馬
13 DF 橋内 優也	15 MF 山本 康裕	11 FW 浅川 隼人
17 DF 山本 龍平	20 MF 前田 陸王	14 FW 安藤 翼
		42 FW 田中 想来

順位表

第33節終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点
1	大宮アルディージャ	77	33	23	8	2	61	22
2	FC今治	61	33	18	7	8	52	33
3	カターレ富山	55	33	14	13	6	43	28
4	FC大阪	51	33	13	12	8	36	27
5	アスルクラロ沼津	50	33	15	5	13	49	39
6	福島ユナイテッドFC	49	33	15	4	14	53	42
7	ギラヴァンツ北九州	48	33	13	9	11	33	32
8	ヴァンラーレ八戸	46	33	12	10	11	37	34
9	SC相模原	46	33	12	10	11	34	34
10	ガイナーレ鳥取	46	33	13	7	13	42	52
11	松本山雅FC	45	33	11	12	10	49	43
12	FC琉球	45	33	12	9	12	41	46
13	ツエーゲン金沢	43	33	11	10	12	45	47
14	FC岐阜	42	33	12	6	15	52	51
15	カマタマーレ讃岐	38	33	9	11	13	40	44
16	テゲバジャーロ宮崎	37	33	9	10	14	40	45
17	AC長野パルセイロ	34	33	7	13	13	41	51
18	奈良クラブ	31	33	5	16	12	37	51
19	Y.S.C.C.	31	33	7	10	16	29	50
20	いわてグルージャ盛岡	21	33	5	6	22	23	66

GOURMET



ヤマダイニング



Ms kitchen



Smiley creperie



夢見る宇宙



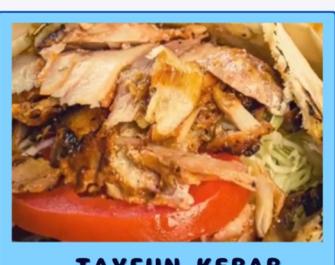
喫茶山雅



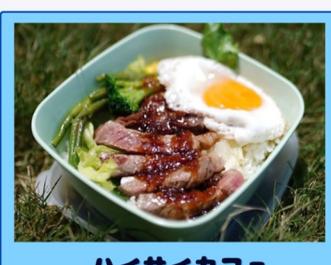
あぶり屋



まねきいも



TAYFUN KEBAB



ハイサイカフェ



HOTぐーる



キッチン樹



横濱藏出し



横浜食品

GOODs INFOMETION

～グッズ売店はホームゴール裏場外～

12:00～販売開始



俺たち横浜タオルマフラー
¥1,650



フラッグLサイズ
¥2,900



一戦集中タオルマフラー
¥1,650



レプリカユニフォーム
11,000円



第35節 HOME

11.2 土

ニッパツ三ツ沢球技場

14:00 kick off



横濱フットボール今昔～唐井直SFP～

Jリーグがまだなかった37年前。中区スポーツ少年団から育った若者たちが横浜の地に小さな種を播きました。それから37年間、横浜スポーツ＆カルチャークラブ（Y.S.C.C.）は町クラブとして歩みを進め、2014年には新たに創られたJ3創設メンバーとしてプロリーグ参入を果たし、本年11年目の節目を迎えました。

Y.S.C.C.創設に関わった一人の私は、一旦は、サッカー界を離れましたが、その後Jリーグ設立と共にプロサッカーチームの強化担当、GMとして清水エスパルス、ヴェルディ川崎（東京ヴェルディ）、ジェフユナイテッド千葉、FC町田ゼルビアで経験を積み、今般Y.S.C.C.に戻って参りました。

フットボールと共に生きる年長者（Senior Football People）としてホームゲーム毎に、フットボールにいま、むかしを綴ります。

ボールで世界平和

スポーツの魅力は、政治の世界の困難を克服し、国境を飛び越え人々が笑顔で交流しあえることにある。

今般のパリ五輪では“五輪休戦”（ウクライナ、ガザ侵攻）はならなかったが、オリンピックは平和の祭典と呼ばれる様に、

ギリシア発祥の古代オリンピックは、その前後の期間も含めて期間中は“聖なる休戦”としていた故事がある。

私が初めて現地観戦に行った82年スペインW杯でも、当時、独立運動を行っていたバスク・ゲリラがW杯期間中は“休戦”としていた記憶がある。

W杯中にテロなどやつたら、民衆からの支持を得られないと思って、なるほどと思った。

決勝戦には、必ずと言って良いほど、国家元首がスタジアムで応援し、優勝すればチャーター機と一緒に帰るなど、どれだけ、人々の暮らしに

フットボールが浸透しているかを物語っている。（駆けつけなければ、次の選挙で落ちるとも（（笑））

政治家もマフィアの親分も、皆、子供時代はサッカーや小僧であった、厳然たる事実。

当時、ソ連軍（東西冷戦終焉以前は、ロシアではなく、ソビエト連邦が社会主義陣営のリーダーとして、NATO北大西洋条約機構と対峙していた）が、民主化運動（連帯）が沸騰したポーランドに圧力をかけるために大規模な軍事演習を挙行し（81年9月）、ポーランドに戒厳令が敷かれる。

そんな折のW杯にソ連もポーランドも参加しており、試合前の国歌が聞こえないくらいのブーイングをスタジアムの観衆はソ連チームに浴びせていた。

また、ポーランドのサポーター達は、W杯応援を口実にスペインにやってきて（不安定な母国を出国して）、そのまま亡命する人も多くいたという。

4年に一度のW杯は、その時代の世界情勢を映し出す。

86年のメキシコW杯では、82年に勃発したフォークランド紛争（アルゼンチン側はマルビナス紛争；捕鯨基地とかアザラシ漁の拠点であった諸島の領有権を巡って、アルゼンチン側から仕掛け、10週間でイギリスの勝利で終わった）での意趣返しに、例の伝説になったマラドーナの5人抜きの

イングランド戦勝利の後に“ディエゴは、砲艦抜きでサッチャー（鉄の女と言われた当時の英國首相）をやっつけた”とメキシコの新聞の一面を飾った。ことほど左様に、フットボールは時に政治をも越える影響力を持つ。



Y.S.C.C.は“地域はファミリー”と共に“ボールで笑顔”、“ボールで世界平和”を理念として掲げている。

YSユースOBの小森義孝さんが、台湾へ渡り（本牧小港の有名店、美濃屋あらの台湾工場を経営）、

台湾への恩返しという思いから台中Futuroというクラブのオーナーとなった。夏休みにU8のチームの遠征で横浜を訪れ、YSの小学生と交流した。

（台中トップチームにはJリーグ最年少ゴール記録、セリエAでも活躍した森本貴幸さんが昨年まで所属）その際、中区役所を訪ね小林区長を表敬訪問した。

これこそ、ボールを通じた民間外交。小森さんは日本の育成システムを学び、台湾に定着させるという大きなビジョンも描いている。“ボールで世界平和”

